**大平地域包括支援センター　担当**

* **日　時：　令和５年８月２３日（水）午後２時１５分～２時３５分**
* **会　場：　栃木市役所大平総合支所**
* **事例数：　１ケース（R4年１１月１６日検討した事例の振り返り）**
* **参加者数： ９名**

**事例提供者１名、助言者６名、包括職員２名**

**3回の脳梗塞の既往がある72歳男性**

**〈目標〉１日：転ぶことなく、自力で行動できる**

**１年：歩行力が向上し、自立した生活が継続できる**

**利用サービス：通所リハビリテーション、福祉用具貸与**

**《前回会議での支援策》**

**支援方針：痛みの軽減を優先しながらリハビリを継続し、ADLの向上を目指すとともに、タンパク質を**

**主とする栄養バランスの良い食事内容や食事を摂る生活環境の整備について助言し、脳梗塞の**

**再発に留意した支援を実施していく。**

**①　72歳で若く、良い薬を服用しているにも関わらず脳梗塞を複数回繰り返していることから、今後も**

**脳梗塞の再発する可能性が高く、かかりつけ医と連絡を密に行い、再発に備えることが重要。**

**②　チェックリストや口腔状態は良好であることから、今後も自歯と義歯の手入れを続けてほしい。**

**③　痛みの軽減を優先にリハビリを継続し、装具の着用についても検討することが良いと思われる。**

**④　タンパク質を主とした栄養バランスの良い食事内容と、食事を摂る住環境の整備が必要である。**

**⑤　有償ボランティアによる外出時の見守りは可能であるが、本人の歩行状態から対応については留意する。**

**《支援結果・状況》**

**①達　成：脳梗塞の再発なく経過している。**

**②達　成：口腔状態の低下はみられていない。**

**③未達成：歩行姿勢の改善、重心移動、引き続き痛みの軽減がはかれるようリハビリを継続していく。また、**

**身体状況に応じて福祉用具の検討も考えていく。**

**④達　成：姿勢が安定し自ら調理を行うようになり、タンパク質や野菜を意識した献立を摂取するようになっ**

**た。**

**⑤未達成：電動カートで外出はできている。歩行器を使用しての独歩は、運動機能や体力的に難しく本人も自**

**信がなくニーズがない状況である。**